

朝日新聞

2013年(平成25年)
11月1日
金曜日
夕刊

なりきった「キャリア」
3面

サイコサスペンス映画
「キャリア」が37年ぶりに
リメイク。16歳のクロエ・
グレース・モレッツが自身
の経験を重ねて主演した。

お金で借りる「友だち」
9面

西先端	8面
文化〈映画〉	3面
be evening	4.5面
小説	4面
スポーツ	7面
円・株・金融	6面
TV	6.10面

grow-up
photographer
Hiromitsu Kondo

office & studio
〒812-0006
福岡市博多区上牟田3丁目9-12-2F

朝日新聞西部本社 発行所:〒803-8586 北九州市小倉北区室町1-1-1
電話:093-563-1131 www.asahi.com
福岡本部 〒812-8511 福岡市博多区博多駅前2-1-1 電話:092-411-1131

朝日新聞 DIGITAL

注目アイドル紹介
いま注目のアイドルを紹介する「ツギクル☆アイドル」第3弾は、結成10年を迎えた新潟発のNegiccoです。各地で増える地方アイドルのパイオニア的存在の3人組にインタビューしました。
<http://t.asahi.com/d0pb>

オンリー朝デジ 読まれた5 ファイブ
31日

- 1 Rソックス、ワールドシリーズ制覇 上原、最終回締める
- 2 山本太郎参院議員、天皇陛下に手紙渡す 秋の園遊会で
- 3 楽天、初の日本一へ王手 4-2で延長戦制す
- 4 (皇室トリビア)「御料車」の謎 ナンバーは? 価格は?
- 5 NHK契約「拒否しても通知2週間で成立」 高裁初判断
<http://t.asahi.com/top5>
専用窓口 0120-383-636(日・祝休み)

自然遺産 子どもの輪

屋久島・白神山地登録20年交流開始

世界自然遺産に登録されている屋久島(鹿児島県)と白神山地(青森、秋田両県)。いずれも今年12月、登録20周年を迎えるのを機に、それぞれの土地に暮らす子どもたちが相互訪問し、交流することになった。互いの貴重な自然を紹介しあい、そのかけがえのなさを学ぼうという狙い。まず11月下旬、白神山地の小学生3人が約1400キロ離れた屋久島を訪れる。



紹介・観察 ます一歩

①屋久島の森の中で希少マツ「ヤクタンゴヨウ」の説明を聞く八幡小の児童たち。3月、鹿児島屋久島町、同小提供
②白神山地の池で水鳥を観察するいわさき小の児童たち。2012年11月、青森県深浦町、浜田哲一さん撮影

屋久島には世界的に特異な樹齢数千年の屋久杉や多くの固有の生物がいる。白神山地には、東アジアを代表する原生的なブナ林に多種多様な動植物が生息。いずれも1993年12月、世界自然遺産に登録された。交流するのは、それぞれの地元で自然観察や保護活動をしている小学6年生同士だ。

交流第一弾として屋久島を訪れるのは、青森県深浦町立いわさき小の6年生3人。白神山地に生息し、環境省のレッドデータブックで絶滅する恐れのある地域個体群に指定されている水鳥シロリガモについて調べている。3人は屋久島に泊6日の予定で滞在する。

この3人を迎えるのは、屋久島町立八幡小の6年生。屋久島と種子島にしか自生していない絶滅危惧IB類の希少なマツ、ヤクタンゴヨウの観察・植樹に取り組んでいる。

滞在期間中は、八幡小で互いの自然観察の成果を発表し合うほか、屋久島生物多様性保全協議会長の手塚賢至さん(60)の案内で、深照葉樹林が残る屋久島の西部林道地域、固有の水生植物が生息する一湊川での自然観察会にも参加する。

今回の交流は、この二つの世界自然遺産のそばに移住した写真家2人がかつて会社の同僚だったことがきっかけ。屋久島町に昨年9月に越してきたフリージャーナリスト武田剛さん(46)、深浦町に3年前から住む写真家浜田哲一さん(50)。2人は環境教育活動にも携わっており、10月に市民グループ「世界自然遺産子どもネットワーク」を発足。屋久島、深浦町などの後援も取り付けた。

武田さんは「遠く離れた自然遺産を、そこに暮らす子どもたちが線となって結ぶことで、貴重な自然を守ることに大切さを全国に伝えてほしい」。浜田さんは「限りある自然を永続的に保護しながら利用するには、未来を担う子どもたちの力が欠かせない」と語る。

子どもネットワークは、来年には屋久島の子どもを白神山地に送り出す予定。将来的には同じく世界自然遺産の知床(北海道)、小笠原諸島(東京都)の子どもたちとも交流の輪を広げたい考えだ。(久恒勇造)